



羅臼町議会だより



しれとこ

第1回臨時議会・第2回定例議会	2~3
一般質問	4~6
議会視察報告	7
北方領土交流訪問(国後島編)・択捉島紀行 ...	8~9

平成29年
第153号
 8月25日



我ら羅臼っ子(羅臼小学校)

平成29年 第1回臨時議会

去る5月10日、平成29年第1回臨時議会が開催され、平成28年度一般会計及び水道会計専決処分や平成29年度一般会計及び国保診療所特別会計など8件が審議され、原案通り可決された。
 ※数字は万円未満四捨五入

**専決
処分**

平成28年度羅臼町一般会計補正予算

補正額 **2億5,212万円** 総額 **45億1,945万円**

議会費	旅費	△70万円
総務費	積立金	3億30万円
	町営住宅に要する経費	89万円
	ふるさと納税に要する経費	△904万円
	地域提案型事業に要する経費	△147万円
衛生費	特別会計繰出金	△1,665万円
	一般廃棄物に要する経費	△381万円
	水産系廃棄物に要する経費	△54万円
農林水産業費	治山事業に要する経費	△115万円
	水産行政に要する経費	△50万円
	温泉供給に要する経費	△116万円
土木費	町道維持に要する経費	△711万円
教育費	芸術文化鑑賞事業補助金	△60万円
	給食センターに要する経費	△170万円
公債費	町債元利償還金	△186万円
	一時借入金利子	△100万円

**一般
会計**

平成29年度羅臼町一般会計補正予算

衛生費 国保診療所特別会計繰出金 590万円

委員会構成が変わりました

議会運営委員会			議会だより編集特別委員会	
職名	氏名	所属委員会名	職名	氏名
委員長	高島 讓二	経済文教常任委員会	委員長	坂本 志郎
副委員長	田中 良	総務民生常任委員会	副委員長	加藤 勉
委員	小野 哲也	総務民生常任委員会	委員	小野 哲也
〃	松原 臣	経済文教常任委員会	〃	宮腰 實

任期 平成二十九年六月一日
 日、平成三十三年五月三十一日まで



共栄町 松田 眞佐都

監査委員の選任

人事案件

平成29年 第2回定例議会

去る6月22日、平成29年第2回定例議会が開催され、平成28年度繰越明許費、平成29年度一般会計補正予算など7件の議案が審議され、すべて可決された。

繰越明許費

教育費	教職員住宅建築事業	62万円
中学校費	知床未来中学校建設事業	3,812万円
総務費	マイナンバー交付事業	54万円
水道事業	水道施設災害復旧	1,640万円

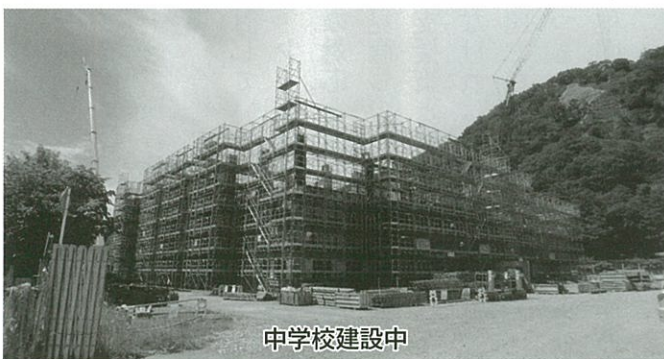
一般会計

平成29年度羅臼町一般会計補正予算

総務費	庁舎管理に要する経費	1,100万円
	電算システム等に要する経費	152万円
民生費	障がい者自立支援事業に要する経費	37万円
衛生費	修学資金に要する経費	120万円
	葬斎場・霊園管理運営に要する経費	40万円

平成29年度後期高齢者医療事業特別会計

諸支出金	保険料払戻金	18万円
------	--------	------



中学校建設中



条例改正

- ・羅臼町議会議員の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例の一部を改正する条例
- ・羅臼町介護保険条例の一部を改正する条例

委員会構成が変わりました

総務民生常任委員会		経済文教常任委員会	
職名	氏名	職名	氏名
委員長	小野 哲也	委員長	松原 臣
副委員長	田中 良	副委員長	宮腰 實
委員	鹿又 政義	委員	坂本 志郎
〃	加藤 勉	〃	高島 譲二
〃	佐藤 晶	〃	村山 修一

行政の考えを問う

3人の議員による7件の質問がなされました。

平成29年
第2回定例議会
一般質問

地域活性化について

町長 効果的に効率よく取り組みを推進

田中 良議員



質問

羅臼町の地域活性化を図るために、まず地域の産業が活発になること、また町民の生活の安定化や将来への希望を持てるような施策が必要だと考えます。

その上で三点質問します。

質問①

産業の活性化についての考え方

湊屋 町長

産業の活性化については、

水産物の地産地消の取り組みや未利用資源を活用した加工品の調査研究及び開発など地域資源を有効活用すること、より一層の付加価値向上と地域内で循環されるシステムの構築を目指します。

更には、様々な取り組みを水産加工業の振興につなげ、加工業界全体の底上げに取り組みます。

質問②

子育てや教育環境の改善について

湊屋 町長

子育てや教育環境の改善については、安心して子育てを行い、まちの子供たちに教育を受けさせる環境を整えることは、地域の活性化を考える上で大変重要なことであるといえます。

現在、全庁的に子育て支援に関係する部署から子育て支援プロジェクトを立ち上げ、保育体制や経済支援等、今後の子育て支援を検討しているところです。

少子高齢化社会の到来への対応と捉え、学校配置の見直しの視点として子育て支援策と併せて考えていかなければならない重要な課題であります。このことにつきましても、小学校と幼稚園の一校一園化の可能性について検討をスタートさせております。

町長としても最終判断をして参りたいと考えています。

羅臼高校も進学者の減少から、存続が重要課題となり「羅臼高等学校存続問題検討協議会」を設立して、



特色ある教育活動の理解と、一層の魅力化を進めるため、町を挙げての検討協議を図って参ります。

質問③

医療・福祉について

湊屋 町長

医療・福祉については、町民の安心・安全の確保のための国保診療所の運営について孝仁会と協力し、道などとも連携を図り、早期の医師の複数体制を整えて参りたい。

地域包括支援センターの運営について、孝仁会に委託し、今後も地域包括ケアにより専門的で質の高い機能を発揮してもらえよう。協力体制を図って参りたい。

移住体験モニター事業などを活用した医療・福祉・介護の専門職員の確保について、今後医療や介護体制を安定的に確保することが町民の安心につながり、地域の活性化を支える施策となるための支援をします。

本議員
坂本 志郎
羅臼町の子育て支援の考え方は
町長 子育て支援プロジェクトで検討し、来年
度からの町の施策に反映していく



坂本 志郎 議員

質問

羅臼町第七期総合計画（※）の基本方針は、子育てについて「子どもが健やかに育ち、親が安心して子育てができるよう各種の保育サービスの実と、多様化や経済的支援を進め子育て支援体制を促進する。」としています。

現在、役場内の子育て支

**学童保育（放課後児童クラブ）に入
れず待機している
児童の対策は**
坂本議員
町長 定員拡大に向けた
検討を行っていく

※羅臼町第七期総合計画
平成二十八年度～平成三
十五年度まで八年間の羅臼
町のまちづくりの将来像を
示し、町政の最も上位に位
置付けられる総合計画。

援に関係する部署からメン
バーを選出し、子育て支援
プロジェクトを立ち上げ、
経済支援や保育体制等の検
討を行うとともに、アンダー
60創造会議でも羅臼の子育
てについて検討している。
今後、これらの提言を受
け来年度からの町の施策に
反映していきます。

質問

羅臼町の学童保育は、羅
臼小学校で一年から三年の
児童を対象に、現在公設民
営で実施されている。民間
の運営とはいえ、児童福祉
法で町は、児童の保育者と
ともに、児童を心身ともに
健全に育成する責任があり
ます。子育ては町の施策の
中でも最重要課題であるの
に、なぜ希望者の入所抑制
が行われているのか。

湊屋 町長

学童保育事業の目的と役
割は、保護者が仕事で昼間
家庭にいない児童に対し、
放課後及び夏・冬休み等の
学校休業日に家庭に代わる
生活の場を確保し、適切な
遊びや指導を行うことによ
り、その児童の健全な育成
を図るとともに、仕事と子
育ての支援を行うことです。
平成二十七年は定員が
十九名のところ、登録数は
十三名で昨年度は十四名で
したが、今年度は希望者が

二十三名と定員を上回るこ
とになり、現在待機児童が
四名います。
待機されている児童及び
保護者にはご迷惑をかける
結果となっているため、今
後、運営事業者と定員拡大
に向け検討を行っていきま
す。

就学援助、小・中学校の新入学
者を対象とした、入学準備金の
支給月を現行入学後の7月支給
から入学前支給に変更すべき

坂本議員

町長 入学前に支給できるよう準備
をする



質問

三月議会で支給月を変更
し親御さんの負担を軽減す
るよう求めたが、新年度か
ら入学前支給を実施するの
か。

湊屋 町長

経済的に困難を抱えてい
るご家庭に寄り添った援助
が必要と考え、平成三十年
度から入学前支給を準備す
る。
対象児童数は約五十名で
す。

坂本議員その他の質問

○小・中学校教師の勤務上
の過重負担について
○平成三十年から道移管
の国民健康保険について



防災について

議員 高島 町長

防災ハザードブックの見直しを行う

高島 讓二議員

れるよう防災対策はしっかり立てておくべきだと思います。

質問①

昨年八月、九月の土砂崩れの復旧工事の進捗状況、完成の予定について

湊屋 町長

国道三三五号、礼文町は年内完成の予定だが、少し時間がかかる。海岸町は来年までの二カ年で治山工事が行われ、その後、土のうが撤去される。昆布浜、瀬石の巨岩は、今年度撤去完了の予定であるとの報告を受けている。

質問②

土砂が大量に海に流れ出たが、漁業への影響についてはどうなのか？

近年、異常気象による災害が各地で発生しており我が町でも台風や爆弾低気圧による高潮、大雪、大雨による災害が発生しています。中でも昨年八月、九月の大雨では土砂災害が各所で発生し、犠牲者が出てしまいました。

今年台風、低気圧による大雨、高潮、豪雪による災害がない事を祈るとともに災害を最小限に抑えら

湊屋 町長

漁協の海洋環境調査では泥が舞い上がる事から、状況を見守って行く。

質問③

防災ハザードブック（※1）の見直しについて

湊屋 町長

作成からすでに五年が経過しており、土砂災害や噴火・大雨による深刻な被害があり、指定緊急避難場所や指定避難所の指定を行い、ハザードブックの見直しを行う予定である。

質問④

Jアラート（※2）について



湊屋 町長

海岸線を持つ全町内会が高潮対策事業の計画対象地となった。

質問⑥

災害備蓄品の管理状況について

湊屋 町長

不足分や消費期限切れなどの状況を把握し、適切な管理をしている。

質問⑦

防災訓練の見直しについて

湊屋 町長

災害は「いつ」「どこで」「どんな事」が起きるかわかりませんので、今後は災害の想定などを検討していきたい。

※1 防災ハザードブック

（防災ガイドブック）

※2 Jアラート

（全国瞬時警報システム）

湊屋 町長

町政だよりにて周知する。

質問⑤

高潮対策の防潮堤の計画と進捗状況について



視察研修

Zoom up!

七月五日〜七日にかけて、上川管内東川町のまちづくりを視察してきました。東川町は「写真の町」として有名で、全国でも人口が増加している町です。役場庁舎では、町議会副議長さんや副町長さん、担当課長さんから東川町で進められている「まちづくり」の事例等をお聞きし、質問を交えながら研修をさせていただきました。

東川町の概要

- ・旭川市街地から十六km
- ・旭川空港から七km
- ・「写真の町 東川」として、写真甲子園を開催
- ・豊富な大雪山の伏流水を使い、上水道は無い
- ・若者を中心に人口が増加
- ・日本一の子育て・教育のまちづくりを施策の柱としている

子育て環境の整備

出生届・婚姻届のデザイン化、生後一〇〇日目の写真プレゼント等ソフト面に

も充実しております。既存の四つの保育園と一つの幼稚園を統合・一元化して子育て支援センターを併設した「東川町幼児センター」を設置している。現在は〇才〜五才児までの二四七名が在籍・通園しており、看護師三名、栄養士三名、調理員六名を含めた職員計五十九名で運営されている。施設面積は三、三六七㎡を有し、各保育室、ランチルーム、プレイルームもゆとりと設計され、訪れた日は天気も良く、外遊びする子供達の歓声が響いていた。



東川町幼児センター

ひがしかわ株主制度

ふるさと納税だけに終わらないサービスを提供する制度となっている。寄附者は「株主」で寄附を「投資」と呼び、永久株主として「東川特別町民認定書」「株主カード」を贈る。株主には特産品が贈られるほかに、来町した時には、各種の割引制度を利用することができ、町民との関わりによって交流人口を増加させる狙いを持った制度となっている。

東川日本語学校

東川町内には創立当初から留学生を受け入れている学校法人があり、少子化で学生や若者が少なくなった町の状態を知ったかつての留学生の提案により、町が日本語講座を主催した。そのことがきっかけとなり、全国初となる公立の日本語学校として「東川日本語学校」が開設された。一年コースと六ヶ月コースが有り、韓国・台湾・ベトナム等から入学している。ここを卒業した留学生のほとんどは本国に帰り、日本語の通訳として活躍されているようです。



東川日本語学校

移住体験施設「大雪遊水ハウス」

移住体験の為の施設として「大雪遊水ハウス」が建設され、有料で貸出されている。長期にわたって入居されている方がおり、現在空室は無いとのことあります。



大雪遊水ハウス



授業風景

北方四島交流訪問

(国後島編)

高島 讓二

五月十九日～二十一日、二泊三日の日程で国後島にて交流訪問を行った。

十九日、乗船した「えとぴりか」は、やがてくっきりと島が見えてくると、島の稜線の向こう側に冠雪した羅臼岳と知床連山が望める非日常的な風景に暫し没頭する。

五月晴れの大変穏やかな天候のもと、国後島古釜布へ向け出航した。太平洋側を走る航路で古釜布まで凡そ三時間半の航海である。中間ラインまでは、海上保安庁の巡視船が並走する。



古釜布港

学校は小中高の一貫校で、七歳から十七歳までの十一年制である。その子たちは合同コンサートにも出演し、歌やミュージカルは素晴らしかった。ロシアは低学年から芸能にも力を入れ、各地に専門の先生がいて教えているようだった。

図書館では、ロシアの「ロ」、クナシリの「ク」、日本の「ニ」、それぞれの頭文字をとった「ロクニクラブ」という組織があり、ビザなし交流が始まる前から日本との文化交流を担ってきた団体がある。



交流意見交換会

ロシア人との意見交換会が行われ、私たちのテーブルでは、ごみ等を含めた環境問題、子供や先生の交流拡大の問題、高等教育施設の問題、観光の問題等を共同で解決していったら良いとの意見が出たが、友好交流がまだまだ足りないのと、今回の訪問を通して感じた。これから更なる友好を深め、両国が仲良くなれる事を願い、平和条約締結に向け進展し、北方四島返還につながると願うものであります。

今回の交流事業の内容は、「行政代表敬訪問」「古釜布墓地墓参」「学校、幼稚園、図書館、博物館、体育施設、ロシア正教会の視察」「ホームビジット」「合同コンサート」「ロシア人との意見交換会」「絵付け体験」などである。

古釜布墓地の横に桜が咲いていて、魂に安らぎを与えているようだった。視察で特に印象的だったのは、アリヨンカ幼稚園だった。夫婦共働きが普通のロシアでは、国が子育てを全面的に支援しており、我が国も見習うべきと思った。



11年生の救命授業

えと ろふ 択捉島紀行

宮腰 實



早朝の散布山

で、三泊四日で択捉島を訪問した。

北方領土訪問第二陣で、六月八日から十一日まで、

六月八日、多数の報道陣に囲まれ、六十人程の見送りを受けながら根室港を離岸する。しかし、時化のため明日までの停泊がすでに告げられていた。見送りの手前出港せねばならず、根室港から二km程の海上で二十時間を費やしてしまう。

六月八日、多数の報道陣に囲まれ、六十人程の見送りを受けながら根室港を離岸する。しかし、時化のため明日までの停泊がすでに告げられていた。見送りの手前出港せねばならず、根室港から二km程の海上で二十時間を費やしてしまう。

内岡沖で上陸の朝を迎えた。穏やかな波に本日の上陸を確信し、なだらかに海に至る残雪の散布山に見られた。

午前七時、上陸用の船が来た。早速第一陣が乗り込むと、北村団長の眼前に一・五mを超えるオヒョウが二枚、これ見よがしにぶら下げられていた。船は昨夜から近くに停泊していたのだから、この下にあのクラスがいるのだ。



5尺を超えるオヒョウ

二日間の予定が一日のみとなったため、慌ただしいスケジュールとなったが、海を見晴るかす父母の墓にぬかずく元島民の姿に涙し、

夕陽浴ぶ 散布山の迫り来て
老ひし語り部 言葉失ふ
鹿山

底抜けに明るい住民との時間を楽しむ事が出来た。

道の舗装は進み、家並はカラフルではあったが、廃屋や沈船は赤錆のままに放置されており、ゴミの山が目につく。

身が震える程の大自然を、乱開発や生活による破壊から守る事が、何より優先されるべきと強く感じる旅であった。



ロシア人も眠る紗那の墓地

世界自然遺産・知床のエリアを、北方四島とウルップ島まで拡大する。

知床を審査した国際自然保護連合（IUCN）は、「技術評価書」を日本政府とユネスコに提出している。そこには、「将来的に近隣の諸島も含めた『世界遺産平和公園』として発展させることも可能である」と記されている。

世界に残された手つかずの自然のほとんどは、深海、南北の極地、あるいは高山にしか存在しない。これだけ低緯度に良好な状態で残された自然環境は、文字通り「世界の宝」である。

この類まれなる自然環境を未来永劫にわたって残すことにより、漁業や観光など持続可能な利用をと、心より望んでいる。

議会の動き

4月

- 24日 議会運営委員会
- 26日 議会報告会
- 28日 知床横断道路オープニングセレモニー

5月

- 2日 議会運営委員会
総務民生・経済文教常任委員会
- 8日 羅臼町商工会総会 議長・経済文教常任委員長
- 10日 平成29年第1回臨時町議会
- 11日～12日 道東4地区管内町村議会議長会連絡協議会
(羅臼町開催) 議長
- 15日 さけ稚魚放流式 議長
行政懇談会 議長
- 16日 知床羅臼観光協会総会 議長
- 17日 羅臼町連合町内会総会 議長
- 18日 愛媛県宇和島市議会行政視察来町 議長
- 21日 東京らうす会総会 議長
- 26日 平成29年度根室地方総合開発期成会定期総会他
(根室市) 議長
- 28日 平成29年度羅臼消防団春季総合訓練大会 議長
- 30日～1日 平成29年度町村議会議長・副議長研修会
正・副議長

6月

- 3日 羅臼町ライオンズクラブ認証50周年記念式典 副議長
- 5日 根室北部消防事務組合議会(中標津町) 正・副議長ほか
根室北部廃棄物処理広域連合議会(中標津町) 正・副議長ほか
根室北部衛生組合議会(中標津町) 正・副議長ほか
- 13日～14日 北海道町村議会議長会定期総会及び研修会
- 16日 議会運営委員会(東京都) 議長
- 17日 第56回知床開きオープニングセレモニー 議長
- 18日 第56回知床開き千人踊り参加
海上保安友の会 議長
- 19日 経済文教常任委員会
- 20日 総務民生常任委員会
- 21日 議会運営委員会
- 22日 平成29年第2回定例町議会
- 26日 根室地方総合開発期成会根室本線花咲線対策特別委員会(中標津町) 議長
- 29日 新潟県南魚沼市議会行政視察来町
根室地方林活議運役員会及び総会(中標津町)

7月

- 4日～5日 北海道町村議会議長会主催研修会(札幌市) 全議員
- 5日～7日 羅臼町議会道内行政視察研修(東川町) 全議員
- 11日 議会だより編集特別委員会
森繁氏、世田谷関係者懇親会 正・副議長
議長ほか
- 19日 羅臼町議会議員OB会総会
- 20日 議会だより編集特別委員会
- 21日 根室北部衛生組合臨時会(標津町) 正・副議長ほか
- 24日 第18回釧根林活連絡会議総会(釧路市)
- 25日～28日 根室地方の地域づくり総合開発に関する要望・提言及びロシア連邦トロール船操業の即時停止に係る要請活動(札幌市・東京都) 議長

町村議員研修会に参加

平成29年7月4日

札幌コンベンションホール

札幌市で開催された、北海道町村議会議員研修会に全議員が参加しました。

主催者の北海道町村議会議長会長から、町村議員のなり手不足問題が報告された後、二名の講師の講演を拝聴しました。

慶應義塾大学教授の金子勝氏から「トランプ政権と日本経済―地域経済への影響は?」と題して講演を頂き、テレビで辛口のコメントーターとして活躍する氏から、アメリカ力経済の影

響で北海道農業が大きく影響を受ける事や、若者が残れる地方を造る事等を訴えていた。

NHK日曜政治討論の司会者で、日本放送協会解説副委員長の島田敏男氏から「日本政治の昨日、今日、明日」と題して世論調査から見た安倍政権について解説され、現在の政党支持について無党派層が拡大している」と指摘していた。



町村議員研修会

編集を終えて

少しの間、議会だよりの係から離れていました。久々の作業に、勘を取り戻すのが大変です。見やすい紙面というのが一番なのですが、的確な説明文章をといつも思っているのか、できていないのか、
改めまして、よろしくお願致します。

小野 哲也